

INVITATION

Ehime University Hospital [愛媛大学医学部附属病院広報誌]

2

2005 AUTUMN



患者様から学び、患者様に還元する病院

愛媛大学医学部附属病院

日本有数の設備・施設と優秀なスタッフが揃う、最先端の内視鏡診療

光学医療診療部 副部長 道堯 浩二郎 医師



PROFILE

みちたかこうじろう◎愛媛大学医学部附属病院・光学医療診療部副部長(助教授)。1980年愛媛大学医学部医学科卒業。1988年医学博士の学位取得。肝臓病学、消化器内視鏡(腹腔鏡)を専門に活躍する。1989年日本肝臓学会研究奨励賞受賞。学生時代は将棋部に所属。

光学医療診療部は内視鏡を用いた診断、治療を行う診療部で、胃カメラや大腸鏡、気管支鏡、腹腔鏡検査とこれらを用いた内視鏡治療を行っています。当診療部は昨年改装され、757㎡という全国一の敷地面積を誇る診療部となりました。広さだけでなく設備も充実し、スペースや設備を整えることで、上部消化管内視鏡検査

希望の患者様のほとんどは、即日検査を受けていただけるようになり、当診療部における昨年の検査・治療は4000件を数えます。消化管内視鏡検査は、早期にがんやポリープが発見できるだけでなく、発見が早ければ開腹手術をしなくとも、内視鏡的にがんの治療が可能です。他にも超音波内視鏡検査、肝臓の腹腔鏡検査や気管支鏡検査、また食道静脈瘤の治療や胆管結石の治療など、内視鏡を用いた低侵襲の治療を行っています。まだ全国でも数の少ない小腸内視鏡も導入。胃カメラには最新型の細い内視鏡スコープも装備しましたので、これまでよりも検査が楽に受けられるようになりました。患者様の希望によっては鎮静剤を使用し、より快適な状態で検査を受けていただけます。

検査は快適性だけでなく、患者様の安全を重視し、必ず看護師が横に付き、血圧などのモニターを設置し、検査中の異変を見逃さないようにしています。当診療部の看護師のほとんどが、日本消化器内視鏡学会の認定する消化器内視鏡技師

の資格を持った優秀なスタッフです。また、検査室や透視室は上部消化管検査用のスペースと下部消化管検査用のスペースを完全に分け、腹腔鏡検査では外部の菌が検査室内に入らないように、逆に気管支鏡検査では検査室内の菌が外部に出ないように、検査内容に応じて検査室内の気圧を調節し、院内感染のリスクの回避に努めています。さらに検査機器の消毒も徹底し、一検査ごとに内視鏡は自動洗浄。光源ユニットや周辺機器についてもアルコール清拭・消毒を行い、定期的に細菌検査をするなど感染防止に取り組んでいます。

当診療部では、国内に10台程度しかないという内視鏡シミュレーターを導入するなど、研修医、医学生の教育、専門医の育成にも余念がありません。最新の施設や設備を広く知っていただくためにも、医療関係の方々の見学も歓迎です。また、診断が難しい症例や、難治疾患など、お困りの症例などがございましたら、遠慮なくご相談ください。



質の高い心疾患の手術で、患者様に満足していただける結果を出す

心臓血管外科 今川 弘 医師



PROFILE

いまがわひろし◎愛媛大学医学部・外科学第二助教授。1982年大阪大学医学部卒業、1986年大阪大学大学院医学研究科修了。医学博士。冠動脈疾患、弁膜症、大動脈疾患に対する外科治療を専門に活躍する。学生時代はサッカー部に所属。

私どもの心臓血管外科では、成人の狭心症や心筋梗塞のような冠動脈、弁膜症、大動脈瘤などの疾患に対する手術を担当しています。最近の手術の多くは人工物を使わない、低侵襲である、ということが望まれるようになりました。例えば、弁膜症の手術は人工弁ではなく、患者様ご自身の弁を修復する弁形成術を第一の選択としています。また、以前の冠動脈バイパス術は、体外循環機の人工心肺を使い心臓を停止させて手術していましたが、最近では心臓を動かしたままで行う心拍動下の手術が主流です。当病院でもこういった低侵襲の手術を行うことで、手術時間も入院期間も格段に短くなりました。心臓疾患はひどくなるまで何も症状が出ないことが多く、異常に気がついた時にはすでに病状が進行しているケースもあります。場合によって

は手術を1秒も待てない状態になっていることも。早い段階で異常が見つかった患者様の中には、自覚症状がないため、心臓の手術が必要と言われても素直に納得していただけないこともありますね。ですから、患者様とは何度もよく話をし、理解をしていただいてから手術を行っています。

心臓疾患も手術で完治する例が多くなりました。これからは患者様や紹介いただいた担当医に満足していただける結果を出すかが望まれます。我々は、患者様の命を預かって手術をしていますから、患者様の希望に応え、満足していただける結果を出す医療であることを第一にしています。第二は誠心誠意その治療に邁進すること。誠心誠意ということでは、当診療科のスタッフは本当によく働き、患者様の期待に応えられるよう一生懸命頑張っています。

がんの化学療法をトータルにケアできる体制の実現に向けて

血液内科 薬師神 芳洋 医師



PROFILE

やくしじんよしひろ◎愛媛大学医学部・内科学第一講師。医学博士。悪性リンパ腫・がん化学療法を専門に活躍する。1988年愛媛大学医学部卒業、1993年愛媛大学大学院医学研究科修了。日本血液学会、日本臨床腫瘍学会、日本内科学会などの指導医も務める。大学時代は野球部に所属。俊足の3番、センターを守っていた。

化学療法と言えば、以前は白血病のような血液腫瘍が中心と教えられていましたが、私は悪性リンパ腫を中心とした腫瘍全般における化学療法が専門です。'93年に博士の学位を取得した後、腫瘍学のメッカであるボストンのダナファーバー癌研究所に留学していた時、痛感したのがアメリカに比べ日本の腫瘍学がはるかに遅れていること。現在、がんは各臓器を専門とする医師が治療に当たりますが、本来化学療法は疾患横断的な腫瘍内科医が担当すべきなんです。がんの化学療法を専門医が行うことで、副作用やがん治療に対する精神面のケアができ、患者様にとってもよりよい治療ができるようになります。残念ながら、まだ日本にはこういった考えが少なく、あらゆる腫瘍をトータルにケアできる腫瘍学の専門医がほとんどいません。

患者様のためにも、早く当病院に腫瘍全般の化学療法を専門とする診療システムができるよう、努力したいと思っています。

悪性リンパ腫においては、私が当診療科に勤務してから、すでに200例を超える方の治療を行いました。化学療法には、外国で認可され効果をあげているにもかかわらず、日本でまだ認可されていない特殊な治療薬を使うケースも多く、当診療科でも導入した経歴があります。本当に効果のある薬は日本でも早く認可され、広く使えるようにしてあげたいと思います。私の信条は「Don't fight cancer in the dark」、暗闇の中でがんと戦うな、ということ。患者様や家族の前で全てを明らかにして、最善の方法をチーム医療の中で選択することを第一に、患者様と一緒にがんと戦っていきたいと考えています。

愛媛大学医学部附属病院 センター・施設のご紹介

お気軽にご相談ください

患者様のご相談・ご紹介等を承っております。ぜひ、ご利用ください。

創薬・育薬センター



創薬・育薬センターの『創薬』とは新しい薬を作ること、基礎研究で効果や副作用の確認された治療薬の候補物質を、患者様で効果や副作用、体内への吸収などを調べて治療薬を作り出すことを示します。一方、『育薬』はすでに市販されている薬の使い方に関するエビデンスを確立し、オーダーメイド治療を行なうための研究と情報を構築することです。

創薬・育薬センターはこうした治療薬の開発と使用技術の向上を推進するための治療の臨床研究を実施し、支援する組織で、専門スタッフの重要性が認識されて平成14年4月に設置され活動しています。センターでは、専任医師と専任のCRC（治験コーディネーター 薬剤師と看護師）、事務職員が常勤し、臨床試験を支援しています。また、地域の医療機関へCRCが訪問して支援するネットワーク治験を実施しております。愛媛県での臨床試験の推進を図り、医療の発展に寄与する治療薬を世界に送り出すことができるように研究を推進致しますので、是非、創薬・育薬センターをご利用ください。



創薬・育薬センター

センター長：野元正弘 副センター長：荒木博陽、森豊隆志 TEL:089-960-5914 FAX:089-960-5910
HomePage : <http://www.m.ehime-u.ac.jp/hospital/souyaku/index.htm> E-mail : souyaku-post@m.ehime-u.ac.jp

総合臨床研修センター

研修医をはじめとする医療従事者の臨床研修をサポートするセンターです。医学部、歯学部卒業後の臨床研修者や希望者に、臨床研修に関して、当院および県下の病院の情報提供を行っています。

また、初期研修後の後期研修に対しても積極的に募集・情報提供に携わっています。

総合臨床研修センター

センター長：恩地森一
副センター長：高田清武
TEL:089-960-5098
FAX:089-960-5131
E-mail: kenshu@m.ehime-u.ac.jp



医療福祉支援センター

当センターは、患者様が安心して療養できるよう支援するために、診察時や退院時のご相談・ご紹介等を承っておりますので、お気軽にご相談ください。

また、ご紹介くださる初診患者様のFAXによる診察予約も承っておりますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

医療福祉支援センター

センター長：三木哲郎
副センター長：恩地森一、石原 謙、榎本真幸（専任）
TEL:089-960-5322/5261
FAX:089-960-5959
E-mail: sien@m.ehime-u.ac.jp



**顧客満足度調査
愛大病院が
全国第1位に
輝きました。**

国立保健医療科学院（旧国立医療・病院管理研究所）が実施した2004年顧客満足度調査入院部門において、本院は、国立大学病院31病院中、堂々の1位に輝きました。

この調査は、平成17年2月に、全国47都道府県277の病院が参加して実施されたもので、国立大学病院31病院が参加して実施されました。

また、同調査外来部門においても7位に入る等、「患者様から学び、患者様に還元する病院」を理念として医師・看護師・関係スタッフが医療活動に励んできたことに対して、高い評価を得たこととなりました。

今回の調査結果を誇りに思うとともに、これらの調査結果に甘んじることなく、更なる病院機能の発展と患者様主体の医療活動の充実に向けて取り組んでまいります。

編集後記

みなさんこんにちは。愛媛大学病院を紹介する季刊誌INVITATIONの第2号をお届けします。

今回からは、病院の様々なセンターや診療部を順次特集してゆくとともに、引き続き今輝いている病院スタッフの紹介、外部からご利用可能な施設のご案内、そして愛大病院からの最新の情報をお伝えしてゆきます。あたたかい愛媛の医療をめざして、私たちは地域に根ざした大学病院のあり方を問い続けてまいります。

これからも皆様の愛大病院をよろしく願っています。

◎愛媛大学医学部附属病院広報委員会
委員長 檜垣実男

◎表紙の人
心臓血管外科 今川弘助教授
— 最新の手術室で —



愛媛大学医学部附属病院

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 Tel.089-964-5111(代)
ホームページ <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp/>